



東陽の旋風^{かぜ} ～自律協働貢献～

令和7年1月31日（金）No 39 発行
文責：松本 卓也

食への関心を高める重要な時間です

24日（金）から30日（木）までは「全国学校給食週間」でした。学校給食は、明治22年（1889）山形県鶴岡町（現鶴岡市）の小学校で貧困家庭の児童を対象に行われたのが始まりとされています。献立は、「おにぎり・焼き魚・漬物」でした。その後、都市部を中心に広まり、戦後の厳しい食糧事情を乗り越え、全国的に普及していきました。現在は小学校で99.0%、中学校で91.5%の学校で給食が実施されています。（令和3年度）全国学校給食週間の取組の一環として、24日（金）の6時間目に東陽給食センターから学校栄養教諭のM先生をお招きして給食集会を行いました。まずは、給食クイズ。「給食が始まったのはいつでしょう？」「給食が始まった理由は何でしょう？」「給食で使う、野菜や果物を洗う回数は何回でしょう？」等々、給食に関する知識が楽しく理解できるよう、工夫されていました。（マルバツブザー、使い方が見事でした！）続いて、給食ができるまでの工程を、①身支度、②食材の準備、③切る・加熱、④サラダづくり、⑤完成と、段階毎に詳しく説明してくれました。M先生からは、「おやつの食べ方を考えよう」のテーマで、本校生徒のアンケート結果（①ほとんどの人がおやつを食べる、②スナック菓子・あめ・グミが多い、③3分の1の生徒が食べた後の歯磨きや食べ過ぎないように注意している）をもとに、おやつの由来や適量（1日200kcal）、おすすめのおやつ等、「間食」として上手に摂ることを教えてくださいました。「おやつは甘い物・お菓子ではなく、軽い食事と考えてください」とのアドバイスをいただきました。正しい箸の持ち方を確認した後、最後は給食集会恒例の「豆つかみ大会」です！白熱した闘いが今年も繰り広げられ、わずが一粒差で2年生チームが先生チームを抑えて優勝しました！



生涯にわたって、心と身体の健康を維持し、生き生きと暮らすために、望ましい食習慣を形成することが必要です。毎日の給食は食への関心を高める重要な時間です。感謝の思いをもって残さず食べましょう！M先生、ありがとうございました。



東陽中の未来を託す Part4

28日（火）、生徒会専門委員長任命式を行いました。新専門委員長からは、「一人ぼっちのいない学校を創るために、トヨナンデスの内容を工夫したりして、一人一人が笑顔になれるようにしていきたいです。（新放送委員長Yさん）」等、生徒会長が掲げる“一人ぼっちのいない学校”を創るための意気込みを語ってくれました。学校という社会の一員として、“自分たちの学校は自分たちでつくる”主体性（当事者意識）を持って委員会活動に取り組んでください。東陽中学校の未来をみんなで創りましょう！



少しおどおどしたけど、頑張りました

28日（火）、「Special English Time for Performance Test」を実施しました。1年生は「冬休みの思い出について伝えよう」、2年生は「東陽町の魅力を伝えよう」、3年生は「プラスチックゴミ問題について伝えよう」のテーマのもと、ショーン先生を始め、4名のALTに英語でプレゼンテーションを行いました。急速に進展するグローバル社会、子どもたちが、多様な価値観を持った人々と協働しながら未来を切り拓いていくためには、異文化を体験し、理解することが重要です。とても貴重な学びの時間になりました。



※ご意見や感想をお待ちしています。「見ました」の一言でも構いません。

保護者名（ ）